

こっこめ通信 05 2009

「笑顔が見たい！」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

4月5日に終わった「フリージアまつり」。今年は風の強い日が少なかったため、フリージア畑はまつりが終わった後も花がとても綺麗に咲いていました。フリージアはその後“レイ”に利用され、フラの発表会などのイベントも開催されていました。また、4月4日に開花したソメイヨシノは、花が順調に咲き18日に満開になりました。冬が寒くなかった割にはたくさんの花が付いていましたね。

さて、今回は、「公園内の新しい遊具」「黒潮の蛇行とその影響」についてのお話です。

公園内の新しい遊具

植物公園の南地区に新たにアスレチック型の遊具が完成しました。小さな子供でも遊べる小型のブランコ、長さ15mのロープウェー、ウミガメの模様がかわいいポゴステップ、そして「海と船と大冒険」と題したコンビネーション遊具の4つの遊具です。

初めは4月25日に遊具説明会を開催する予定でしたが、低気圧の通過で大荒れ！26日に順延となりました。26日は早朝に雨が降ったものの、説明会が始まる頃には回復。風は冷たかったですが、たくさんの子供達が集まってくれました。説明会終了後にはすべての遊具が開放され、子供達の笑顔と大きな声が響き渡っていました。一番の人気はコンビネーション遊具の「黒潮ローラースライダー」、順番待ちの列ができていました。

新しい遊具の場所は南エントランスの上になります。駐車スペースが少ないので、混雑時は南エントランスへの駐車をお願いします。

また、近くにお手洗いが無く、ご不便をお掛けして申し訳ありません。園地ゾーンのお手洗いのご利用をお願いいたします。



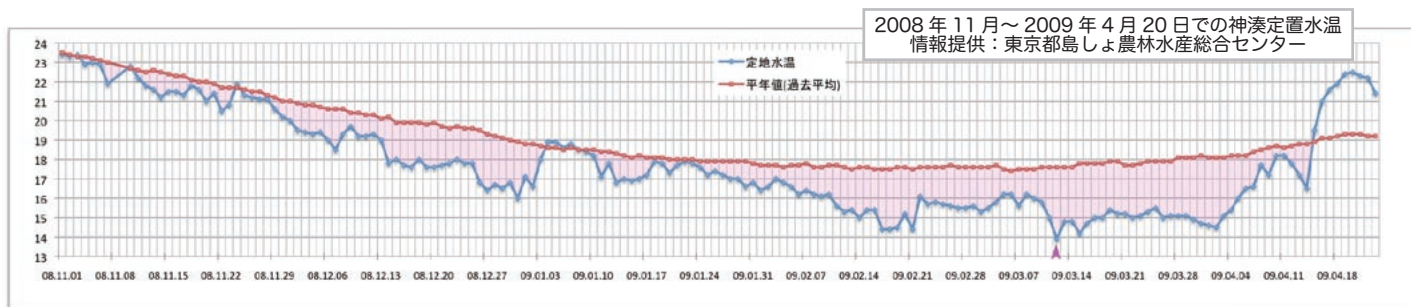
「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

黒潮の蛇行とその影響

11月頃から黒潮が南下し、島の回りは冷水域に入ってしまった。水温も徐々に下がり始め、12月中旬以降平年を大きく下回り、海の生きものたちの元気がなくなってきました。年明け後、一時水温が回復したものの再度下がりだし、3月12日には“13.9℃”まで下がってしまいました。この時期に海に潜ると温帯域の生きものたちや深場の生きものの姿が増え、温かな水を好む魚・貝・カニなどが水底に沈んでいました。これほど水温が低くなり、期間が長いのは久しぶりではないでしょうか？

海岸を歩くと低水温に耐えられなかった魚達が打ち上げられていました。あまりに種類・数共に多かったのでデータ（下表）を取ってみました。数えてみるとツマジロモンガラやメガネハギなどのモンガラカワハギ科の魚が目立ちました。寒さから逃れるために岩の亀裂に入り込みそのまま死んでしまったのでしょうか？

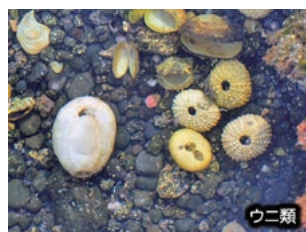
また、黒潮が離れ、水位が下がってしまった為、潮だまりではウニや貝などの殻などもたくさんありました。しかし、離れていた黒潮も4月に入り近づき始め、一気に水温が上がりました。海の中はまだ少し寂しいですが、これから幼魚の増える時期、水温が低くなる前の海に早く戻ってくれることを願います。



下は大湊浦園地から南原への砂地・岩場・約500mの海岸線で見つかった漂着魚類の一覧（一部ウミガメも含む）。

水位が下がってしまった大湊浦

アシロ目	アシロ科	イタチウオ	1
トゲウオ目	ヘラヤガラ科	ヘラヤガラ	7
	ヤガラ科	アオヤガラ	6
カサゴ目	フサカサゴ科	ハナミノカサゴ	1
スズキ目	キントキダイ科	ホウセキキントキ？	10
	ヒメジ科	オジサン	1
	チョウチョウウオ科	ニセフウライチョウチョウウオ	1
		チョウチョウウオ	1
		ミゾレチョウチョウウオ	1
		ハタタテダイ	3
	キンチャクダイ科	タテジマキンチャクダイ	7
		アカハラヤッコ	1
		アブラヤッコ	3
	スズメダイ科	ミツボシクロスズメダイ	1
		オヤビッチャ	1
	ブダイ科	ナガブダイ	1
		ブダイ	3
	ツノダシ科	ツノダシ	2
	ニザダイ科	ゴマテングハギモドキ	2
テングハギ		11	
フグ目	モンガラカワハギ科	ゴマモンガラ？	2
		クロモンガラ	24
		ツマジロモンガラ / メガネハギ	120
		ナメモンガラ	4
	カワハギ科	ウスバハギ	2
		ソウシハギ	6
		ハクセイハギ	3
	ハコフグ科	ハコフグ	2
		ウミスズメ	7
	ハリセンボン科	イシガキフグ	14
		ハリセンボン	4
		ネズミフグ	1
		アオウミガメ	1
		計	254



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 4 月 12 日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成 21 年第 4 回）参加者：菊池昭、茂手木、沖山、黒田、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			36	チチコグサ	花	18	ヒサカキ	花と実
1	アオスゲ	花	37	ツメクサ	花	19	ヒメユズリハ	花
2	アオノクマタケラン	去年の実	38	トキワハゼ	花	20	モチノキ	花と実
3	アツバスマシ	花	39	ノミノフスマ	花	21	ヤナギイチゴ	若い実
4	イヌホオズキ	花と実	40	ハナイバナ	花	22	ヤブツバキ	若い実
5	イワニガナ	花	41	ハハコグサ	花	23	ヤマモモ	若い実
6	インチンナズナ	花と実	42	ハルジオン	花	シダ植物		
7	ウスベニニガナ	花	43	ヒナギキョウ	花	1	アスカイノデ	
8	ウラジロチチコグサ	蕾	44	ヒノキバヤドリギ	実	2	イシカグマ	
9	オオアレチノギク	花	45	ヒメコバンソウ	花と実	3	イノモトソウ	
10	オオシマカンスゲ	実	46	フウトウカズラ	花	4	オオイタチシダ	
11	オオトキワツクサ	咲き始め	47	マツバウンラン	花	5	オオタニワタリ	新葉が一斉に立つ
12	オオバコ	花	48	マメカミツレ	花	6	オニヤブソテツ	
13	オニタビラコ	花	49	ミゾイチゴツナギ	花	7	カニクサ	
14	オランダミミナグサ	花	50	ムシクサ	花と実	8	シチトウハナワラビ	
15	カスマグサ	花	51	ムラサキカタバミ	花	9	タチクラマゴケ	胞子葉
16	カタバミ	花と実	52	ヤエムグラ	花	10	タチシノブ	
17	カモジグサ	花	木本			11	タマシダ	
18	カラスノエンドウ	花と実	1	アオキ	花	12	トラノオシダ	
19	キュウリグサ	花	2	イヌビワ	花と実	13	ナチシケシダ	
20	キランソウ	花	3	エノキ	花	14	ナンカイイタチシダ	紅い新葉
21	ケキツネノボタン	花と実	4	オオアリドオシ	花	15	ノキシノブ	
22	コケミズ	花と実	5	オオシマザクラ	花と実	16	ハチジョウカナワラビ	
23	コケリンドウ	花	6	オオバヤシャブシ	実	17	ハチジョウシダ	
24	コシロノセンダングサ	花と実	7	カジイチゴ	花	18	ハチジョウベニシダ	
25	コハコベ	花	8	コウゾ	花と実	19	ヒトツバ	若い胞子葉
26	コマツヨイグサ	花	9	サカキカズラ	花	20	ホシダ	
27	シチトウスミレ	花	10	スダジイ	花	21	ホラシノブ	
28	シバ	花	11	タイミンタチバナ	若い実	22	マツバラシ	胞子が散る
29	シロバナマンテマ	花	12	タブノキ	花、咲き始め	23	ミウライノデ	
30	スズメノエンドウ	花と実	13	トベラ	花	24	ワラビ	新葉が展開
31	スズメノカタビラ	実	14	ハゼノキ	蕾	今回はシダ植物 24 種を含む 99 種の植物を観察しました。観察した種数が多く、後半は全員疲れ気味？		
32	スズメノヤリ	花と実	15	ハチジョウイチゴ	花			
33	セイヨウタンポポ	花	16	ハチジョウキブシ	花、咲き終わり			
34	タチイヌノフグリ	花と実	17	ハチジョウグワ	花			
35	タネツケバナ	花と実						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「モスケミソサザイ」にスポットを当ててみたいと思います。



モスケミソサザイ *Troglodytes troglodytes mosukei*

ミソサザイ科の留鳥。ミソサザイの亜種で、亜種ミソサザイより体色が濃く、腹部の白い斑および暗褐色の横斑は鮮明なところが違います。三原山側の沢でよく見られ、大きな声で複雑なさえずりをします。

【環境省レッドデータブック絶滅危惧ⅠB類】

2009 5 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
 31 ガイドウォーク 09:53 04:36 23:29 16:28		 この色の日は 特別行事があります			1 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」 08:01 03:01 23:47 15:54	 2 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」 09:31 04:59 17:12
3 「草木染め体験教室」 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」 00:56 07:04 11:56 18:33	4 「早朝探鳥会」 「海をあそぼう」 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」 01:44 08:08 13:46 19:44	5 立夏 「早朝探鳥会」 「草木染め体験教室」 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」 02:20 08:50 14:59 20:40	6 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」 02:50 09:26 15:55 21:25	7 03:17 09:59 16:42 22:05	8 03:44 10:30 17:25 22:41	 9 ガイドウォーク 04:12 11:02 18:04 23:14
10 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 04:39 11:34 18:42 23:46	11 05:08 12:07 19:18	12 05:37 00:17 19:55 12:41	13 06:07 00:48 20:32 13:16	14 06:39 01:22 21:13 13:53	15 07:14 02:01 21:59 14:35	16 ガイドウォーク 07:56 02:56 22:55 15:23
 17 ガイドウォーク 09:01 04:21 23:54 16:22	18 10:54 06:03 17:33	19 00:48 07:17 12:54 18:49	20 01:31 08:07 14:19 19:55	小満 21 02:08 08:47 15:22 20:52	22 02:42 09:26 16:16 21:41	23 ガイドウォーク 八丈学講座 「海藻を調べよう」 03:15 10:05 17:07 22:25
 24 ガイドウォーク 03:50 10:45 17:56 23:07	25 04:26 11:28 18:45 23:49	26 05:06 12:13 19:33	27 05:48 00:31 20:21 12:59	28 06:35 01:17 21:09 13:48	29 07:27 02:10 21:56 14:39	30 ガイドウォーク 08:30 03:15 22:43 15:32

イベントプログラム

GW特別行事 「バードウォッチング入門」	植物公園の中でバードウォッチングの入門編です。アカコッコは見られるかな？ 5/1～5/6（10:30～ 約1時間） だれでも ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名 雨天中止
GW特別行事 「体験八丈太鼓」	両面から打つ、島の太鼓を体験してみませんか？日頃のストレスを発散しよう！ 5/1～5/6（13:30～ 随時） だれでも ビジターセンター入口にて 無料 雨天中止
GW特別行事 「草木染め体験」	アシタバを使って絹のハンカチを染めます。どんな色に染まるかな？ 5/3・5（13:30～ 約1時間半）小学生以上（低学年は保護者同伴） ビジターセンターにて 参加費：800円（材料費込み） 定員：10名
GW特別行事 「早朝探鳥会」	早朝のホタル水路で、春に渡ってきた鳥や島の代表的な鳥を観察します。 5/4・5（6:30～ 約1時間半）小学生以上（低学年は保護者同伴） 雨天中止 鴨川ホタル水路 集合・解散 参加費：50円 定員：15名
GW特別行事 「海をあそぼう」	植物を見たり、鳥を見たり、漂着物を探したり、潮だまりで遊んだり、いろいろしちゃいます。 5/4（13:30～ 約2時間）小学生以上（低学年は保護者同伴） 雨天中止 現地 集合・解散（当日決定） 参加費：50円 定員：15名
植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！ 5/10（13:30～ 約1時間半）中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名
八丈学講座 「海藻を調べよう」	毎月行っている八丈学講座。今月は、海岸にある海藻を調べます。島にはどんな海藻があるかな？ 5/23（13:30～ 約1時間半）中学生以上 現地 集合・解散（当日決定） 参加費：50円 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～	八丈・海・生きものたち
11:00～	おじゃりやれ 八丈島
14:00～	おじゃりやれ 八丈島
15:00～	おじゃりやれ 八丈島
16:00～	八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です	

東京都八丈ビジターセンター 2009.5.1 第96号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

今回、水位の下がった海岸沿いを何度も歩きました。そこで潮だまりで水の入れ替えが少なくなっても生き続けるメジナなどの幼魚の生きる力に感動しました。潮だまりで生きる生きものたちは強いですね。（高）